

晴流奏  
短歌集  
うたう深海鯨





こんにちは。

どれみふぁそらいろ歌人 晴流奏と申します。

誰にでも手に取って貰える歌集を目指しこの度フリーペーパーを作ってみました。深海の深みに囚われた鯨の様に誰かに届けばと詠った歌を集めてみました。ふとした日常の隙間に読んで頂けたら幸いです。難しい事は何も言えない私ですが、短歌という一つの表現方法は大好きです。歌を通して色々な人と出会いたい。そんな想いを込めつつこの文章を書いています。こうして出会えたのも何かの縁。名前だけでも覚えて貰えたら嬉しいです。

空蝉の出会いに感謝していただきますあなたの空は何色ですか？

晴流奏



う  
た  
う  
深  
海  
鯨





手の平に転がしたまま持て余す拾った小石の様な寂しさ

信じてても飛べる気がもうしないんだ君ともお別れだよティンカーベル

深みから無理に引き上げないでくれ僕の内臓飛び出ちゃうから

くねくねとうねる癖毛のベイトーベン鏡の前で偏屈な顔

一人泣く空虚な心に沁み渡る深夜ラジオの奏でるショパン







諦めを含む溜息飲み込んでまた千切れまく僕のシナプス

傷付けた痛みは胸に刺したままメープルラテの紅茶をどうぞ

飛び去った君は自由で籠の中囚われてるのは私の方だ

美しき波紋の中に悲しみの寒き記憶を刻む年輪

頼り無い僕の呻きも高らかに歌う誰かの為の旋律







茫漠な日々にくろある幸せは夕餉の匂いのする帰り道

深海へ潜る鯨は遠く聴く仲間の歌を縁に泳ぐ

砕かれし心が君にぶつかって丸みを帯びていく澄んだ音

星月夜時々僕は人間になりたいなんて思ってしまった

琥珀色のジンジャーティーがみぞおちに宿る孤独を静かに満たす



## うたう深海鯨

<http://p.booklog.jp/book/27290>

著者 : harurukanade

著者プロフィール : <http://p.booklog.jp/users/harurukanade/profile>

発行所 : ブクログのパブー (<http://p.booklog.jp/>)

運営会社 : 株式会社paperboy&co.

感想はこちらのコメントへ

<http://p.booklog.jp/book/27290>

ブクログのパブー本棚へ入れる

<http://booklog.jp/puboo/book/27290>





